24年の火災43件

釧路市消防本部管内　05年以降で最少

2024年（1～12月）の釧路市消防本部管内（釧路市、白糠町）の火災件数が、同本部が2005年に白糠町の消防事務を受託して以来、過去最少となる43件だったことが分かった。火災による死者は前年より4人増加し5人、負傷者は9人減少し3人。救急出動件数は4年ぶりの減少となる1万1366件となった一方、搬送人員は過去最多の1万414人と、2年連続で1万人の大台を超えた。（森崎博史）

同本部のまとめによると、火災の内訳は、建物が36件（前年比3件増）と全体の8割を占め、車両4件（同2件減）、野火などのその他が3件（同7件減）だった。建物火災36件のうち、全焼は11件（同8件増）、半焼1件（同4件減）、部分焼8件（同3件増）、ぼや16件（同4件減）。

原因別では電気関係7件（同2件増）、たばこ5件（同増減なし）、こんろ5件（同増減なし）、ストーブ5件（同2件増）、放火または放火の疑い4件（同4件減）など。月別では、過去10年で一番発生が少なかった2月の8件が最多となり、5月（5件）、3、4、10、11月（各4件）と続いた。

救急出動は1万1366件（前年比205件減）、搬送人員は1万414人（同51人増）。このうち、急病が7826人（同361人減）と全体の4分の3を占め、一般の負傷が1565人（同45人増）、転院搬送が1243人（同114人増）、交通事故が328人（同36人減）だった。

同本部では昨年、ストーブ火災が増える冬期を前に、ストーブや電気の取り扱いについて注意喚起する動画を、同本部公式ユーチューブに投稿するなど啓発に力を入れており、「今年もSNSを使った啓発活動やイベント、住宅用火災警報器の取り替えも推奨していく」とし、地域住民に向け「救急車の適切な利用に協力してほしい」と話している。

1人が死亡した火災現場（昨年1月、釧路市新橋大通9）

阿寒町でスポーツ合宿を

釧路市　誘致PRパンフ作製

釧路市阿寒町のスポーツ施設を活用した合宿などの誘致PRパンフレットがこのほど完成し、配布が始まった。担当したのは、昨年9月に着任した地域おこし協力隊で地域づくり推進コーディネーターの湯浅花苗さん。自然豊かな練習環境と施設を生かした滞在メニューの提案や相談体制の充実を道内外の高校、大学を中心にアピールしていく方針。

阿寒地区は、市内唯一の全面天然芝サッカー場（多目的広場）や軟式野球場のほか、アリーナや25㍍温水プール、トレーニングルームを完備する町スポーツセンターからなる町総合運動公園を有する。周辺の道道222号は、町富士見公園から布伏内コミュニティセンターまで片道10㌔。交通量は少なく適度な起伏に富み、ロード練習に適している。2017年からは日本大学サッカー部が夏季合宿を実施。市は、高校や社会人のサッカー大会開催などの実績を生かし、一層の利用を促そうとパンフレットを作製した。

湯浅さんは各大学の監督の年代や合宿内容、本州で人気の合宿地などをリサーチ。施設概要と利用料をはじめ、夏季の平均気温や交通アクセス、宿泊施設「サークルハウス赤いベレー」では空港や練習場所までの無料送迎、1日3回の食事対応などを紹介する。中でも「パーソナライズ合宿」では、練習メニューや合宿目的、移動手段のほか、練習時のドローン撮影や洗濯など多様なメニューを提案。同コーディネーターがワンストップ窓口となりLINE、ウェブでの相談に応じることを明記する。またユーチューブ開設も視野に入れる。湯浅さんは「市街地や空港にも近く、環境も施設も整ったエリアだと広く知ってもらいたい。かゆいところに手が届くサービスを目指している」と話す。

パンフレットはA4判カラー8㌻で400部製作。全国の大学サッカー部や道内の高校サッカー部123校に送付したほか、市役所や阿寒町行政センター、町スポーツセンター、赤いベレーで扱う。また30日までは、ウインドヒルくしろスーパーアリーナ（湿原の風アリーナ）で開催中の釧路市協力隊の活動展示会場でも配布している。（河辺田記子）

完成したパンフレットを手にする湯浅さん

110番適切な利用呼び掛け

釧路署が啓発

「110番の日」の10日、釧路署（本間博幸署長）は釧路市内のイオンモール釧路昭和で、110番の適切な利用を呼び掛ける啓発を行った。

この啓発は毎年この日に同署管内の商業施設で実施している。この日は署員5人が参加。買い物客に通報の適正な利用のほか、闇バイトや特殊詐欺への警戒なども呼び掛けながら、標語の入ったチラシやティッシュ、カイロなどの啓発用品100セットを配布した。道警のマスコットキャラクターの「ほくとくん」も駆け付け、家族連れと記念写真を撮る姿も見られた。

同署によると、2024年中に同署が受理した有効な110番通報は1万2169件（暫定値）で、23年に比べて616件減少した。通報内容は交通事故が最も多く、けんかや口論のトラブルが続く。

同署地域課の鈴木弘光指令係長は「不急の110番通報で警察官が出動してしまうと、他の現場への到着が遅れ、被害者の命に関わったり犯人を取り逃す可能性がある。相談、照会など連絡は警察署の代表電話か、警察相談専用ダイヤル#9110を利用して」と呼び掛けている。（橋本梓）

「ほくとくん」と共に行われた啓発活動

初滑り 待ちわびた！

標津 金山スキー場オープン

【標津】町営金山スキー場が10日、オープンした。現状では積雪が少ないため、左斜面だけで営業をスタート。初日はシーズン開幕を待ちわびた町内外のスキーヤー、スノーボーダーが滑りを楽しんだ。

同スキー場を管理する篠田興業の篠田猛専務によると、現在の積雪量は25㌢程度。今後、雪が増えたら全斜面での営業と第2リフトを稼働する見込みという。

この日、ゲレンデではスキーやスノーボードを抱えた親子、若者などが雪の感触を満喫。浜中町から家族3人で来場した今泉杏紗さん（11）は「久しぶりなので少し怖かったけど楽しかった。今後もできるだけ多く来たい」と笑顔を見せた。

1月末までは毎日営業し、2月は土日祝日のみ。時間は午前9時～午後4時。リフト料金は1回につき大人140円、中学生以下80円。お得な1日親子リフト券やシニア割引きなどもあり、スキー、スノーボードのレンタルもできる。

また、スキー教室が今月12、19、26日と2月16日、スキー場まつりが2月16日にそれぞれ予定されている。同スキー場についての問い合わせは0153(85)2172、スキー教室が本村さん090(6876)1471、スキー場まつりは町総合体育館0153(82)3112へ。（嶋守善一）

オープン初日に滑りを楽しむ来場者

山田和弘さん死去

82歳、元釧路市教育長

元釧路市教育長の山田和弘（やまだ・かずひろ）さんが8日死去した。82歳だった。自宅は釧路市武佐4の6の9。通夜は11日午後6時、葬儀は12日午前9時、緑ケ岡3のベルコ釧路シティホールで行う。喪主は妻由美子さん、葬儀委員長は両角陽一さん（NPO法人根釧NET監事）。

釧路市生まれ。釧路市役所に奉職し、釧路フィッシャーマンズワーフ計画の立ち上げから携わるなど、市のまちづくりに参画。その後、市教育長として学校現場を歩いた。保護司、ユネスコなどのボランティア活動とともに、1980年に厚岸町太田に私財を投じて電気も水道もない生活を体験する「山小屋らんぷのいえ」を建設。たくましく生きる子供たちの活動拠点となった。また、その場は気さくに酒を酌み交わしながら自由に釧路の魅力を語る「屯田塾」の活動拠点として、多くの友人たちが集った。好きな言葉として、「一燈照隅」（ランプの小さな光は一隅しか照らさないが、たくさん集まれば全体が明るくなる）を大切にしていた。

「スルーガイド」の役割学ぶ

釧路で24日にATセミナー

釧路観光コンベンション協会と釧路総合振興局、根室振興局が主催する「アドベンチャートラベル（AT）セミナー」が24日午後2時から、釧路市観光国際交流センターで開かれる。

セミナーは自然、アクティビティー、異文化体験のうち二つ以上を組み合わせた体験観光「AT」についての十分な理解と、地域に関する多様な情報を持ち、自身もツアーに参加しながら顧客管理や地域関係者、旅行会社などとの橋渡しを行う「スルーガイド」をテーマに開催。道のスルーガイド認定を受けた馬上千恵さんを講師に招き、ATにおけるスルーガイドの役割と重要性について学ぶ。

参加無料で定員50人。釧路総合振興局などのホームページに掲載している申込書をダウンロード、必要事項を記入の上、20日までに電子メールかファクスで申し込む。

同振興局商工労働観光課は「釧路と根室が一体となってATを盛り上げるためにもスルーガイドの育成は急務であり、ぜひ参加してほしい。AT人材の育成は引き続き行っていきたい」と話している。

申し込みは釧路観光コンベンション協会、電子メールhoso@kushiro-kankou.or.jpかファクス0154（31）1994へ。（須貝喜治）

チラシを手に参加を呼び掛けるスタッフ

80代女性が道路横断中はねられ死亡

過失運転致死、容疑で逮捕

10日午前7時ごろ、釧路市愛国東3の市道交差点で、同住所の無職、矢澤セツ子さん（81）が普通乗用車にはねられた。矢澤さんは頭などをひかれ、その場で死亡が確認された。釧路署は乗用車を運転していた同市愛国西2、会社員千葉裕也容疑者（25）を過失運転致死の疑いで現行犯逮捕した。

釧路署などによると、現場は片側2車線の市道と愛国なめ通りが交わる交差点で、信号や横断歩道はなかった。矢澤さんは道路を南から北へ横断しようとしたとみられ、新釧路川方向から走行してきた車にはねられた。事故当時路面は乾燥状態だった。

車は一時現場を去っており、千葉容疑者は「衝撃があり、止まって戻ってきた」と話している。容疑については「道路上にいた歩行者の方をはねてしまいました」と認めている。同署で詳しい状況を調べている。

高齢女性がはねられた事故現場（釧路市愛国東3、午前8時40分ごろ）

レイアウト・猪狩　正貴

交通事故状況

（9日現在）

	件数	死者	傷者
釧路署	2	0	2
累計	19	0	21
厚岸署	0	0	0
累計	1	0	1
弟子屈署	0	0	0
累計	0	0	0
根室署	0	0	0
累計	0	0	0
中標津署	0	0	0
累計	0	0	0

特急がシカと衝突し運休

10日午後5時5分ごろ、JR根室線の池田―十弗駅間で、札幌発釧路行きの特急「おおぞら7号」がシカと衝突、同列車の自動列車停止装置に不具合が発生したため、池田駅まで後退した。同列車は同駅以降の運転を取りやめ、乗客は後続列車に乗り換えた。この影響で一部の列車に運休や遅れが出た。

キヨーレオピン　病気に克つ　体力をつくる　カトウ薬局　釧路市鳥取大通3　T55-5401

株式会社ヨシオカ薬局　YOSHIOKA PHARMACY　薬の事ならお任せ下さい　まつうら調剤薬局　代表取締役　吉岡幸二　釧路市松浦町12番5号　☎(0154)65-5777　FAXフリーダイヤル　0800-8009464　ユースエール認定企業として認定されました

専門店　カップ・トロフィー・楯・旗　メダル・バッジ・記念品　デザインから製品まで　覗いてみましょう！　有限会社イトウ徽章　釧路市旭町26番113号　リバーサイドマンション1F　☎0154-25-5275　FAX0154-25-7574

元釧路市教育長
夫　山田　和弘　儀　自宅療養中のところ一月八日午前九時三十三分、行年八十四歳をもって永眠いたしました。
ここに生前のご厚情を深謝し謹んでお知らせ申しあげます。
おって葬儀は左記の通り執り行います。
記
一、通夜　一月十一日(土)午後六時
一、葬儀　一月十二日(日)午前九時(出棺十一時)
一、式場　ベルコ釧路シティホール（緑ケ岡三・湖陵高校隣）
令和七年一月一日　釧路市武佐四丁目六番九号
T(42)4242
喪主　山田　由美子
旭主　長男　山田　岳男
兄の妻　山田　静江
姉　白木　貞子
姉　柏木　智恵子
義兄　宇都宮　取一
義弟　細木　裕三
ほか　細木　瀏
親戚　木村　秀一
釧路市長　鶴間　典
釧路ユネスコ協会長　戸加　同志
NPO法人根釧NET理事長職務代行者　江幡　満
NPO法人根釧NETネイバル北見所長　茂田　志
一般社団法人日本善行会釧根支部長　鵜沼　有美
釧路保護司会連合会会長　齋藤　芳
葬儀委員長　両角　誠
NPO法人根釧NET監事　陽徳　康一幸

Bellco　釧路シティホール　釧路市緑ケ岡3丁目1番33　TEL(0154)42-4242 FAX(0154)41-4949

清酒　福司　フクツカサ　納得のいく手づくりの酒　北国の風土に　恵まれた心に滲みる　銘酒釧路の地酒　福司酒造(株)　釧路市住吉2の13の23　☎41-3100　URL fukutsukasa.jp/　◆福司　純米吟醸酒（1.8ℓ）　◆福司　大吟醸（1.8ℓ）

社会生活基盤の一役を担う企業　鉄筋・ガス圧接工事の事ならご連絡お待ちしております　SHIBATA　木造住宅基礎から高層MS・学校　医療福祉施設・ホテル・etc　RC橋脚・橋台・BC・小径杭頭筋など　創業1971年　株式会社シバタ鐵工業　釧路市新野24番1081　☎(0154)57-8900　スタッフ募集中!!詳細はご連絡ください。

屋根と壁の塗り替えリフォームはおまかせください。　診断・見積り無料!　工藤塗装工業　【本社】☎(0154)41-7373　釧路市弥生2-6-3　【事務所】☎(0154)35-9431　釧路市共栄大通2-1-12

釧路銘菓　地酒ケーキ　福司　菓子処　なかじま　◆浦見本店　◆中園店

総合電気工事設計施工　北電工業株式会社　釧路市柳町9・20　☎(代)(22)0204